

北の物販倶楽部 謁見音声 書き起こし資料

2015年2月7日 謁見収録 No.05



はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。



真田 孔明：

同じ代表で、2社目3社目って作ってる場合

北野会長：

うん

真田 孔明：

弟が・・・でも創業融資、引っ張ったばかりじゃないですか

北野会長：

うんうんうん

真田 孔明：

いつぐらいのタイミングで2社3社って作れるんすかね？

北野会長：

来年や

真田 孔明：

え？

北野会長：

来年

真田 孔明：

あ、来年、6ヶ月くらい過ぎてから？

北野会長：

そうそうそう

真田 孔明：

はい

北野会長：

ま、融資を受けたらまた新しい会社作れるんやで

真田 孔明：

うんうん

北野会長：



ま、交渉期間も含めて

真田 孔明：

はい

北野会長：

これ、あっちゅう間に6ヶ月ぐらい経っとる

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

バケツ持って、香港のを、ね、海から一杯にすくったからって水位は下がらないから・・

真田 孔明：

うん 笑

北野会長：

笑 ストローで目一杯一口飲んでみたって、水位は下がらん

真田 孔明：

はい

北野会長：

そう思っとりゃ簡単や

真田 孔明：

う〜ん・・事業をどんどん立ち上げて、経営できる経営者を探すわけですね？

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

お金を、ちゃんと

北野会長：

あのね、本当は飾りが一番ええんやて、うん、飾りでええんよ

真田 孔明：

う〜ん



北野会長：

あの～事業できる者って探しても、それほど多くねえから

北野会長：

みんな泊まってるところは別々なんやろ？（メンバー）

真田 孔明：

みんなさっきの所

北野会長：

あ、本当？

北野会長：

ふ～ん、俺、みんなタクシー待っとんのかなと思った

真田 孔明：

あそこです、はい、あそこの周りはSOGOとかあるんで、はじめてでも便利なんで

北野会長：

ほお～

真田 孔明：

歩いて色々行けるとこあるんで

北野会長：

ふ～ん

真田 孔明：

チムサーチョイもいいですけどね、あ、ちなみにホテルは高いんですよ、あそこね

北野会長：

ああ～

真田 孔明：

ちょっと・・・

北野会長：

うちの会社の交際費やから・・・



真田 孔明：

交際費！ 貸付が・・・ 笑

北野会長：

あれね、こうやって出るやる？

真田 孔明：

うん

北野会長：

で、出た時に1日の日当いうもんを決めといて会社に請求しときゃいい

真田 孔明：

う〜ん、なるほど

北野会長：

そやる？

真田 孔明：

うん

北野会長：

でも先に、旅費規定いうのを作っとくんやて

真田 孔明：

旅費規定を作っとくんですか？

北野会長：

海外行ったというの1日、5万とか・・・

真田 孔明：

ああ、会社の規定ですね？

北野会長：

そうそう、規定やから

真田 孔明：

はい

北野会長：



法律やで、会社の法律

真田 孔明：
会社のですね？

北野会長：
そうそう、香港行ってタクシー乗ったりさ、昼飯も夜飯も食わないと

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
ね、そう、だからそれを、いちいち了承をとってるのはひどいから

真田 孔明：
はい

北野会長：
セットにして5万円にするとかさ10万円にするとか

真田 孔明：
色々必要ですね？

北野会長：
そうそうそう

真田 孔明：
サッチェル、それ規定作らないとね

サッチェル：
作ってある

真田 孔明：
あ、作ってある

サッチェル：
うん

北野会長：
ねえ、何に従うのは知らんけど、それをさ



真田 孔明：

はい

北野会長：

逆算して売り上げも、じっくりこう

真田 孔明：

じっくり

北野会長：

右肩あがりに上げて行くんや

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

最初からあげたらダメだ

真田 孔明：

それで新しい会社作った方が早い？

北野会長：

そうそうそうそう

真田 孔明：

新しい会社をいくつか作って行って、物販の会社を・・

北野会長：

何でもええんや

真田 孔明：

はい

北野会長：

会社の名前が違ってりゃ大丈夫、連結決算さ

真田 孔明：

はい



北野会長：
ね、一回貸して飛ばされたら困る・・・金融機関は

真田 孔明：
はい

北野会長：
で、2個を作って3個目で飛ばせれば、もっと困る

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
連立でこう、作るときゃさ

真田 孔明：
はい

北野会長：
損するのは銀行だけや

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
飛んだらね・・・わしの場合は飛ばんよ

真田 孔明：
はい

北野会長：
金利だけ払っとくよと

真田 孔明：
うん

北野会長；
っていう交渉術やね 笑

真田 孔明：



う～ん

北野会長：

交渉術さ、あとは「すいません」と「お願いします」だけや、相手がガーンと強気にでたら「お～わかった」って全部返すからと

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ね、楽天を解約して全部返しゃええねんか

一同：

笑

北野会長：

何を四の五の 笑 戦争はできるようになったんやから 笑

真田 孔明：

素晴らしいっすよねえ

北野会長：

小切手作って切って

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

あとは楽天で、金引っ張るまでの、ね

真田 孔明：

はい

北野会長：

10日もありゃ十分できるって

真田 孔明：

う～ん

北野会長：



その一見、パーンと切るところが大事なの、そうするとその噂ってのはすぐ出るから、金融機関に・・

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

ね、返してくれ言うたら、うちの・・

真田 孔明：

うん

北野会長：

ね、バカな部長が「全部返してくれって」って言うところで、返してもらったと

真田 孔明：

はい

北野会長：

そんなの金融機関に、一気に流れるわ

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

返したら

真田 孔明：

ええ～

北野会長：

俺、返せの腹立って・・誰がお前、たった2億ぐらいの端金、お前、ねえ、四の五の言われて、「じゃあ返すわい」、嫁はんに書いとけて・・1本解約して2億返しゃ一緒やあんなもん

真田 孔明：

笑

北野会長：

何を考えとる・・本当は一番損したの俺の方やもん



真田 孔明：

笑

北野会長：

配当金入ってこんようになるやもん、2億円と言っても2分あれば400万あるんやから

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

ね、それをこの捨てる勇気がある？

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

でもそれは、こう一回人に見せると、そこが一番の強みに

真田 孔明：

信用になる

北野会長：

そう、信用になる

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

返してくれ言うたら返したと

真田 孔明：

で返したら逆に向こうって怒られちゃいますよね？それ言った人、担当の人

北野会長：

そう、それで絶対、支店長になれんよ

真田 孔明：

う〜ん、そういう事やっちゃうと

北野会長：



うん、2億の金利払うのなくなるぞ

真田 孔明：

そうですね、2億の営業先探すの大変ですよね？この時代において？

北野会長：

そやる？わしね、そういう事はね、大きい声では言いたくはないけども、ね、俺ほどバカさがひどいんやと

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

ね、地方で2億、でかいぜよ

真田 孔明：

でかいですよね、支店長ね、で、それ相手って誰ですか？国系のところですよね？

北野会長：

あ、普通の銀行でも一緒

真田 孔明：

普通の銀行でも一緒

北野会長：

普通の銀行のを、部長か何かのやった奴

真田 孔明：

はい

北野会長：

俺の場合、そうやってもの言うたから

真田 孔明：

ああ〜

北野会長：

まあ、ね、どういう意味合いで

真田 孔明：



うん

北野会長：

ね、「まあ全部返されてもええんやけど」、「じゃそこまで言うんやったら、社長、返して下さいよ」って言うから

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

俺も、カーッと来てさ、嫁はんに「じゃ2億小切手切ってやってくれっ」て、それで「お前帰れ」って

真田 孔明：

うん

北野会長：

帰ってくれって

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

と言うたんやで

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

そしたら世間の噂になってさ

真田 孔明：

はい～

北野会長：

ね

真田 孔明：

で、こういうの、どこから広がるんですかね？



北野会長：

いやいや

真田 孔明：

ずっと

北野会長：

そんなの、自分の銀行に小切手持っていくやん

真田 孔明：

はい

北野会長：

俺んこの・・・ね？

真田 孔明：

うん

北野会長：

支店長もおる、副支店長もおる

真田 孔明：

はい

北野会長：

従業員もおるやろ？

真田 孔明：

はいはいはい

北野会長：

あ～っちゅう間に広がるわい

真田 孔明：

向こうとしては大事件ですよ？いきなり、2億のあれが下がっちゃったんですもんね、支店長からすれば・・・

北野会長：

そう、この支店長ってのは、どうする？その2億もらって？



真田 孔明：

ええ、まずいですよね？

北野会長：

「おい、どうするんだ？」って

真田 孔明：

「今月、もうあと何日かないのに、この売り上げどうすんだ？」ってなるっすよね？

北野会長：

そうやる！

真田 孔明：

笑 銀行側からすると

北野会長：

そやる？ 笑 だから自分の立場からだけ見とるからそうやで

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

周りの立場から見とると 笑

真田 孔明：

想像すると確かにそうですね？

北野会長：

もう大変な事や

真田 孔明：

大変な事です、大事件ですよね？

北野会長：

どこ行っても2億借りてくれ言うて・・・

真田 孔明：

無理ですよね？

北野会長：



そやる？

真田 孔明：

横浜とかだったらまだしも

北野会長：

だからそこなんやて

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

だからそこに勝負かけにゃあかんよいう話をしとる

真田 孔明：

で、そうするとまた、「ごめんなさい」が来るんですか？

北野会長：

そりゃ来るやろ？

一同：

爆笑

真田 孔明：

ちょっと、いい条件で 笑 ごめんなさいも兼ねて

北野会長：

「会長！あれね、この間の・・・ちょっと・・・半分でもいいから、なんとか、つないでもらわんと・・・」支店長にしたら、自分の首は大事やから

真田 孔明：

そうですよね？早急つないで

北野会長：

そやる？ 笑

真田 孔明：

爆笑 すげ〜これ 笑

北野会長：



ほんとやで 笑

真田 孔明：

うん

北野会長：

金利すぐに半分になるわ

真田 孔明：

爆笑

北野会長：

何考えとん？

真田 孔明：

すげ～

北野会長：

貸してもろうたんやから、ずっと

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

お互いにまだ安い金利で 笑 継続して行きゃええねん

真田 孔明：

ずっと継続

北野会長：

相手が言い訳を書くさ

真田 孔明；

う～ん

北野会長：

何で俺が・・・お前、言い訳書、書く？

真田 孔明：

う～ん



北野会長：
金利安くしたのは支店長や

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
自分が言い訳書、書きゃええねんて

真田 孔明：
穴埋めしないとイケないですからね

北野会長：
燕返しやで

真田 孔明：
爆笑 燕返し、必殺技！ 笑 必殺技すごい、燕返し・・燕返しにしたし担当者は消える
し・・ 笑

北野会長：
そうそう

真田 孔明：
邪魔な担当者を 笑

北野会長：
でもね、そういう奴はね、ほとんどね、銀行から見たら放り出されてしまう

真田 孔明：
ああ～わかってないと

北野会長：
わかってない

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
商売にはなっていない



真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

金貸しが金返してもらってどうするんだよと？ 笑

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

金を倍貸したい理由はあるんだけど、金を返してもらったって、1円の利息も入らんのやか
ら・・

真田 孔明：

これだって2億、消滅させた事になりますからね

北野会長：

そうそう、だから、そこで度胸ある経営者だったら

真田 孔明：

はい

北野会長：

「金利を半分に支店長してくれたんだから、ね、2億借りにとって金利もらう？だから支店長簡
単や！4億貸してくれりゃ、一緒の金利入るよ」と言う

真田 孔明：

おお〜、すごいリアルだ

北野会長：

結構、俺うまいやろ？

真田 孔明：

笑

北野会長：

2億の金利を半分に貸したやろ？

真田 孔明：



はい

北野会長：

「じゃあ、支店長4億貸せば、一緒の金利入るんじゃない？」って

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

この掛け算の早さ

真田 孔明：

笑 2倍、燕返し 笑 燕返し

北野会長：

すごいでもその発想いいやろ？

真田 孔明：

ええ、それがいい

北野会長：

2億を叩き返して4億パッと借りるんや

真田 孔明：

はい

北野会長：

その4億をお前、何の四の五の言わんとお前、トリプルエンジン入れれば55%で回るのに、何を考えとる？そこら辺を、勝負の言葉やね

真田 孔明：

う〜ん燕返し・・・すごいですね、2億円が4億円になって、金利が半分になるとか 笑 むちゃくちゃですね？言ってる事が 笑 か、書き出してみると 笑

北野会長：

いや、でも俺の言ったの間違っとる？

真田 孔明：

間違っていないです、1個も



北野会長：
そうやる？

真田 孔明：
う〜ん、すごいな、これ、逆にチャンスになっちゃいますよね？これね？

北野会長：
ピンチはチャンス言うて、昔から

真田 孔明：
爆笑

北野会長：
ピンチほどチャンスはあるのやから

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
で、それだから、自分から見るから変になって見える

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
笑 相手の立場を考えて考慮せんと

真田 孔明：
はい

北野会長：
ね、こういう優しい言葉で

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
俺の場合はほら、人間が優しいからさ



北野会長：

そう、いや香港のタクシーは、タバコ吸えんよね？

真田 孔明：

吸えないですね

北野会長：

う〜ん、そうか、何かでも、えらいモヤっとらん？

真田 孔明：

香港ですよ

北野会長：

ああ

真田 孔明：

でもこんな感じの天気の時多いですよ、モヤモヤしてるの・・

北野会長：

あ、本当？

真田 孔明：

はい

北野会長：

ふ〜ん

真田 孔明：

あんまり快晴ってのを、そんなに見た事ないですね、香港、広州

北野会長：

あ、広州も一緒か？

真田 孔明：

はい

北野会長：

あれはPM2.5なの？

真田 孔明：



笑

北野会長：
違うの？

真田 孔明：
どうなんすかねえ？

北野会長：
サッチェルは何しとるの？その社長やってるの？

真田 孔明：
社長は弟です、サッチェルはそこの後ろから、弟をサポートして

北野会長：
ふうん、サッチェルはどこ、いやシンガポールにいる？

真田 孔明：
いや日本

サッチェル：
日本ですね

北野会長：
日本にいるの？

サッチェル：
日本にいます

北野会長：
じゃあ彼に会社作らしときゃいい

真田 孔明：
う〜ん

サッチェル：
2月に1個、作ろうかなと・・・

北野会長：
う〜ん、じゃあそれなら、それがいいよ



真田 孔明：

うんうん

北野会長：

1つ言わんで、10ほど作っとかなくちゃ

真田 孔明：

う〜ん

サッチェル：

でもいきなり1,000万、トリプルエンジンにいっちゃっていいもんなんですか？

北野会長：

全然、問題ない

サッチェル：

笑 あの売上高作るの、会社で最初回そうかなと思ったんですけど、ちょこちょこちょこちょこ

北野会長：

全然んなのする必要ない、売ってから仕入れでええんやから・・こういうのが、まだわかつたらんな

サッチェル：

笑

北野会長：

売りが先、仕入れは後

北野会長：

そう、いやだから、物販はだから、物販問屋、骨董品でも何でも売ってりゃええが

サッチェル：

はい

北野会長：

それをね、仕入れてから売ってるようでじゃあかん、売ってから仕入れにや

サッチェル：



う〜ん

北野会長：

10で売ったら8で仕入れると、ね

サッチェル：

そうですね

北野会長：

これだけでええがな、あとは確実に金の取る・・・もらえるところに物を売ると・・・

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

わし等は、ほら国に物を売っとるやつやから

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

うん、調剤薬局にしたってさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

介護にしたって、みんなあれ、国のや

真田 孔明：

そうですね

北野会長：

うん、集金のない業務やから 笑

真田 孔明：

素晴らしい・・・利権ビジネス

北野会長：

そう



サッチェル：

売上高の、このカーブですね、上がり方

北野会長：

うんうん

真田 孔明：

それをどのくらいの、最初創業した会社っていきなり・・どのくらいを目指して行けばいいんですかね？月500ぐらいを

北野会長：

ダメだよ、小さければ小さいほどいいよ

サッチェル：

あ、もっとちっちゃい方がいいんですか？

北野会長：

そう、それの方が楽に決まっとる

サッチェル：

100万、次が200万とかそんな感じで

北野会長：

そうそう、最初の年は100万・・

サッチェル：

ああ

北野会長：

1,200万売り上げを上げるやろ？仕入れ、たとえば900万と、かかった、給料とかかった経費が280万

サッチェル：

うん

北野会長：

利益プラス20万のや

サッチェル：



うん

北野会長：

で、プラスにさえなっとりゃいいんや、利益は・・・

サッチェル：

う～ん

北野会長：

で、返済の時期になったら、だんだんだんだん、儲かるようになったみたいな事を書いときゃ、また・・・

一同：

笑

サッチェル：

やっぱり半年後くらいでいいんですかね？次の融資引っ張るのは？

北野会長：

いやいやいや、だからそれは銀行に言うたりさ、ね、国金から借りとりや商工貯金に言うたり回してけばいいんや

真田 孔明：

商工貯金

北野会長：

そう、あと信用金庫でもなんでもいい

真田 孔明：

信用金庫

真田 孔明：

なるべく転勤のある規模がいいんですよね？

北野会長：

そうや、それは絶対やね、地回りはね見にくるから・・・

真田 孔明：

仕事してるか、ちゃんと



北野会長：
そうそうそう

サッチェル：
なるほど

北野会長：
地回りは、怖いところそれやねん

真田 孔明：
笑

北野会長：
嫁はんと一緒にさ 笑 監視されとったら何もできんぞ？

サッチェル：
そうですね

真田 孔明：
笑 確かに、浮気もできないですね

北野会長：
そう

真田 孔明：
なかなか

サッチェル：
だからあれだね、半分ぐらい入れちゃって・・

北野会長：
半分じゃ絶対ダメ、全部入れて回すが！

サッチェル：
全部！ 笑

北野会長：
だから、売りがあってはじめて仕入れを立てるんやと

真田 孔明：



ああ～

北野会長：

ここはね、ここがわかったらんと大変やよ？別にさ銀行に資本金にしたって借り入れしたって、銀行に置いとかんない法律なんてねえんやから昔から・・・自分が心苦しいからそんな事を笑 バカな言葉で・・・ 笑 罪を認めとるのと一緒やからな

真田 孔明：

罪を認めて 爆笑 浮気して浮気したと思ってるのと一緒でしょう

北野会長：

そうそうそう、自分が反省しとるだけやから

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

言わなきゃ、全然わからんて、そんなもん

真田 孔明：

笑

サッチェル：

あ、その、何かその売り上げを、こう作った方がいいんじゃないのかなって・・・信用創造したお金で・・・

北野会長：

それはだから、入金があってから出金を起こせばいいが、何を今から金で仕入れてって、お前ものを考えとる

真田 孔明：

もっともっと引っ張ってから

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

だんだんと

北野会長：



伝票はね、いつでも作れるん

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

あんなもん、エクセルでそうあんなの叩く、あの、打ちこむだけやる？

真田 孔明：

あ、そっか、伝票があるんだ、伝票なんだよ

サツチェル：

売り上げ立ててからってこと？

北野会長：

そうそう、売り上げ立ててから仕入れの費用決めるだけやな、売り上げの・・先に仕入れを立てて、売り上げを上げる、あとは売れるもんは売ってきゃええや

真田 孔明：

うん

北野会長：

ネットでも何でも、ええやねん、売れるもんはゆっくり売るが、入金はず先にはさせないと

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

ね、それを出金を先に持つてくとね

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

彼が言うてるような事になるわけ、まずか、確実にもらってから発送すると、ね

真田 孔明：

うん

北野会長：



これ絶対、失敗せんな

真田 孔明：

はい

北野会長：

それを、反対にすると引っかかる

真田 孔明：

銀行もどうせ貸した相手が、そんなすぐに売上高立つとは思ってないわけですよね？

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

みんながみんな

北野会長：

う〜ん

真田 孔明：

計画書が書いてあったとしても

北野会長：

計画書は未来のや、未来ってのは予言ができん事を未来言うんやから

真田 孔明：

計画書、500万毎月売上げ、やれますって書いてあって

北野会長：

うんうん

真田 孔明：

うん

北野会長：

それで無理はせん事やっちゅう

真田 孔明：

うん



北野会長：

500万売れるなと思ったんやけど、ね、200万も行かんが・・・これでええ

真田 孔明：

はい

北野会長：

でも500万に見栄張ってね、1,000万売上げました言うバカな事書くから、みんな潰れる

真田 孔明：

なるほど

北野会長：

みんなそうよ？んなの、わかるやろ？

真田 孔明：

笑

北野会長：

結局そういう事になるわけ

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

支店長も

真田 孔明：

はい

北野会長：

下の部下もみんなそうなるが

真田 孔明：

うんうんうん

北野会長：

最後は、ノルマと売り上げになってしまう



真田 孔明：

うんうんうん、で一生懸命仕事しちゃう

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

楽天から、ジワジワ上がってくれば 笑

北野会長：

そこを、このゲームは、その答えを知らんとね、これできんよ

真田 孔明：

うん

北野会長：

だから俺は、だから答えから導く方程式もあるんでないかってのが、ね、6から5を引きゃ、必ずプラス1なんやから

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

5から6引くからまずくなるんやて、簡単やろ？

真田 孔明：

はい

北野会長：

常に6から5を引くと・・・ $3 \times 3 = 9$ やと・・・ $9 \times 9 = 81$ やと・・・こういう具合に考えてみると、簡単にこう方程式が解けるよ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

いや〜、今日もよく飲んだわ、すごいあの〜、炭酸がしゃべっとる

サッチェル：

炭酸が 笑



北野会長：

炭酸、炭酸が、消えてったような

真田 孔明：

炭酸 笑・・・明日7時からなんですけども

北野会長：

うんうん

真田 孔明：

あそこで、6時半ぐらいで大丈夫ですかね

北野会長：

いや、俺は何時でもいいよ、どっちみちずっと遊んどるんやから・・・仕事した事ねえけど・・・

真田 孔明：

はい

北野会長：

こういう考え方やとね

真田 孔明：

はい

北野会長：

どんだけでも養殖ができるんや

真田 孔明：

養殖、う～ん

北野会長：

増えてくやろ？

真田 孔明：

う～ん・・・確かに純粋に借りた金が増えているわけですからね

北野会長：

そやろ？



真田 孔明：
はい、純粹に・・・

北野会長：
それを返さんのやから

真田 孔明：
はい

北野会長：
どんどん増えて行く

真田 孔明：
確かに

北野会長：
返すとね、金は減って行くんやと

真田 孔明：
うんうん、で、返してる間に、また新たに借りると

北野会長：
そうそう

真田 孔明：
作って！

北野会長：
どんどんだから、はじめて会うた時、言うたやろ？

真田 孔明：
はい

北野会長：
1,000兆まで借金したいと

真田 孔明：
笑

北野会長：



簡単やる？あれ？答えは簡単なんだ、貧乏人ってのはな

真田 孔明：

はい

北野会長：

金を借りる事ができん人が貧乏人

真田 孔明：

確かにそうですね、稼いで作ろうとしてて

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

大変ですよね、稼ぎ続けて

北野会長：

だから $3 \times 3 = 9$ のわけよ

真田 孔明：

うん

北野会長：

ね、スコップ持って、 $1 + 1$ をね、どんだけ足しても2にしかならんが

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

だ、 $3 \times 3 = 9$ の方が楽言うてる

真田 孔明：

はい

北野会長：

わしの場合はまだもっと、そのエゲツない $9 \times 9 = 81$ で来とる 笑

真田 孔明：

笑



北野会長：

これ、あんまり良くないけども・・・みんな若いからさ、すぐには理解できんねん、ま、いつか理解できる日もあるやろ・・・

真田 孔明：

はい

北野会長：

利権と金ってのは取ったもん勝ちなんやで

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

本当に・・・ 笑

真田 孔明：

はい

北野会長：

普通の人ってのは、なぜかね

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

あんたが書いてる通りね、借金は早く返さんなんとかさ

真田 孔明：

いや～、もうずっとそう教わりましたからね

北野会長：

いやいや、そうやって

真田 孔明：

笑

北野会長：

教育しとるわけやから、日本の国は



真田 孔明：
日本の国はね 笑

北野会長：
そうそう

真田 孔明：
雇われる側の方の 笑

北野会長：
さっきも言ったけどね、日本の金持ちみんな無職や

真田 孔明：
うんうん

北野会長：
あれには俺、びっくりしたわ

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
うまい事にね

真田 孔明：
うん

北野会長：
長い事、自分でも理解出来なかったもん・・どこの国でも同じらしいよ？

真田 孔明：
うんうん

北野会長：
その最高峰が

真田 孔明：
はい



北野会長：
エリザベス

真田 孔明：
エリザベス

北野会長：
ね、が全ての島の利権を持って無税国家を作って、ね、自分だけ太ってっとるわけや

真田 孔明：
笑

北野会長：
良くこの香港を放したと思うやね

真田 孔明：
中国に帰しちゃって・・・

北野会長：
でもこの利権は、ものすごくでかかったと・・・

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
これも利権やからね？

真田 孔明：
うんうん

北野会長：
これだけのものを捨てるという事は、これだけ以上の利益が出てる

真田 孔明：
ね～、そうですね～、何だったんですかね？中国返還

北野会長：
そういうのは誰もね、判明せんがじゃ

真田 孔明：



う～ん

北野会長：

真実は絶対ないってのはそこに

真田 孔明：

多くの人が死んだかもしれないし 笑

北野会長：

そうそうそうそう、もともとさ

真田 孔明：

はい

北野会長：

まあ、香港じゃさ、アヘン戦争か何かのために

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

こう、ね、利用しただけの

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

そこあったんやから・・・でもよく、快く返したなと思うんやけど

真田 孔明：

う～ん、みんな反対してたみたいですね？

北野会長：

う～ん、いやだから、それ以上の物を貰ったから・・・

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

これを手放したとね、計算してみりゃ絶対わかる話や



真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

という欲たましい奴がみんな、ただで話すわけないわ

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

日本がさ、沖縄を返しますって、どれだけのお金をアメリカに突っこんどるんや？

真田 孔明：

ああ〜

北野会長：

そやる？・・・今、北方四島を返してもらうために、ね

真田 孔明：

う〜ん

北野会長：

日本の国を、どれだけ金払ったら見合うかっていう計算をしとるんや

真田 孔明：

あれ返って来ると、資源がいっぱい取れるんでしたっけ？

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

はい

北野会長：

資源が取れるけどね

真田 孔明：

う〜ん



北野会長：
結局開発するお金も日本が抱いたらんと

真田 孔明：
ああ

北野会長：
ロシアやんね〜と

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
今、だからロシアにあの〜

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
お金を買っとくと、また金は儲かるわい

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
この間まで、え〜、1ルーブルが3円ほどやった、今は1,8ぐらいになっとるや

真田 孔明：
へ〜

北野会長：
降りて(タクシー) 酒でも飲んでく？

真田 孔明：
ああ、そうですね、はい

北野会長：
うん

真田 孔明：



お願いします

